

ヨーロッパ(EU/EC)法 シラバス訂正版

教授 濱本正太郎

<http://www2.kobe-u.ac.jp/~shotaro/>

shotaro@kobe-u.ac.jp

5 月 25 日 制度法 その 3

ヨーロッパ(EU/EC)法の適用・執行システム (1)

——直接適用可能性——

- ・ 国際法の直接適用可能性とは何か
- ・ ヨーロッパ法の直接適用可能性はそれとどのように異なっているか
- ・ 派生法に直接適用可能性が認められる条件は何か
 - ・ 派生法の形式によってそれは異なるか
- ・ ヨーロッパ法の直接適用は各国憲法秩序と矛盾しないか

【予習課題】

判例集 1, 5, 6, 7, 8

参考文献

伊藤洋一「EC 条約規定の直接適用性」法学教室 263 号 (2002)

庄司克宏「欧州司法裁判所と EC 法の直接効果」法律時報 74 巻 4 号(2002)

山手治之「欧州共同体法の直接的適用性(1)(3)」(未完)立命館法学 125/126, 127 号(1976)

須網隆夫「直接効果理論の発展に見る欧州統合の現段階」日本 EC 学会年報 14 号 (1994)

岩沢雄司『条約の国内適用可能性』(有斐閣、1985)

小寺彰『パラダイム国際法』(有斐閣、2004) 第 5 章「条約の自動執行性」

中西優美子「欧州司法裁判所による適合解釈の義務づけの発展」専修法学論集 85 号(2002)

6 月 1 日 制度法 その 4

ヨーロッパ(EU/EC)法の適用・執行システム (2)

——構成国国内法に対する優越性——

- ・ 国内法秩序における国際法の位置づけはどのように決定されるか
- ・ ヨーロッパ法の場合はどのように決定されるか

- ・各国憲法秩序の譲れない価値とヨーロッパ法が矛盾する場合はどうなるのか

【予習課題】

判例集 2, 3, 4, 16

伊藤洋一・法学教室論文

参考文献

- 伊藤洋一「EC 法の国内法に対する優越(1)~(3)」法学教室 264, 265, 266 号(2002)
- 伊藤洋一「EC 法における『国内手続法の自律性』の限界について」北村一郎編『現代ヨーロッパ法の展望』(東大出版会、1998)
- 齋藤正彰「EC 法の優位と憲法の対応——フランスとドイツ——」中村睦男ほか編『欧州統合とフランス憲法の変容』(有斐閣、2003)
- 大藤紀子「フランス法秩序と条約」中村睦男ほか編『欧州統合とフランス憲法の変容』(有斐閣、2003)
- 申恵丰「欧州統合と人権」村田良平編『EU 二一世紀の政治課題』(勁草書房、1999)
- ゲオルグ・レス「EU における基本権保護」石川・桜井編『EU の法的課題』(慶應義塾大学出版会、1999)
- フランス憲法判例研究会編『フランスの憲法判例』(信山社、2002) 1~5
- ドイツ憲法判例研究会編『ドイツの憲法判例』(信山社、第2版、2003) 70, 71
- 庄司克宏「EU(EC)法秩序における欧州人権裁判所の役割」石川明編『EU 法の現状と発展』(信山社、2001)
- 伊藤洋一「EU 基本権憲章の背景と意義」法律時報 74 巻 4 号(2002)

6 月 8 日 制度法 その 5

ヨーロッパ(EU/EC)法の適用・執行システム (3)

——ヨーロッパ司法裁判所——

- ・国際裁判所と比較した場合の EC 司法裁判所の特質は何か
- ・ヨーロッパ司法裁判所は、しばしば「憲法裁判所」といわれる。それは、どのような意味でか。
- ・ヨーロッパ法秩序に「強制執行」は存在するか
- ・なぜ先決訴訟(先行裁定)制度が作られたのか
- ・先決的判決の効果はどのようなものか

【予習課題】

EC 条約 220-245 条
判例集 12, 13, 14, 18
(中村民雄・ジュリスト論文)

参考文献

ジェイコブス (北村・中村訳)「ヨーロッパ共同体法院の役割」法学協会雑誌 109 巻 10 号(1992)
須網隆夫「欧州連合における司法制度改革」早稲田法学 82 巻 1 号(2006)
中村民雄「行政訴訟に関する外国法制調査——EU」ジュリスト 1247 号(2003)
伊藤洋一「ヨーロッパ法における取消訴訟改革の動向」原田尚彦古稀『法治国家と行政訴訟』(有斐閣、2004)
カーデルバッハ『国際法・ヨーロッパ公法の現状と課題』(中央大学出版部、2005)
「ニース条約以降のヨーロッパ裁判所制度」
中西優美子「EC 法の履行確保手段としての EC 条約 228 条 2 項」大阪外国語大学国際関係講座『国際関係の多元的研究』(2004)
中西優美子「欧州司法裁判所による義務違反国への強制金並びに一括金の賦課」貿易と関税 56 巻 4 号(2006)
フォッフスヘルト「ルクセンブルク欧州司法裁判所による法的判断についての比較法メソッド」阪大法学 55 巻 1 号(2005)
黒神聰「EU 強制執行制度の特質と『執行文』付与の法的意義」松井芳郎ほか編『グローバル化する世界と法の課題』(東信堂、2006)

6 月 15 日 実体法 その 1

域内市場と 4 つの自由移動

物の自由移動

- ・「関税同盟」と「域内市場」との違いはどのようなものか
- ・スコッチウイスキーとカシス・ドウ・ディジョンは経済統合にどう貢献したか
- ・相互承認制度はどのような意味で画期的か

【予習課題】

EC 条約 23-31 条
判例集予習課題 20, 21, 22, 23, 24 (, 25)

★講義終了時に中間試験(take home)課題

参考文献

- 福田耕治「欧州統合の理論と現実の構築」同志社法学 282 号(2002)
- 福田耕治「欧州統合のプロセスと理論」『EU 政治経済統合の新展開』(早稲田大学出版部、2004)
- 須網隆夫『ヨーロッパ経済法』(新世社、初版第 2 刷、2001) 3「EC の目的——共同市場から域内市場へ」、4「物の自由移動」、7「域内市場統合の完成」
- シュルツ「経済政策統合に伴うヨーロッパの経験」中村民雄編『EU 研究の新地平』(ミネルヴァ書房、2005)
- 安藤研一「EU、国民国家を超える制度の政治経済学」中村民雄編『EU 研究の新地平』(ミネルヴァ書房、2005)
- 廣田功「拡大 EU の経済的挑戦——経済統合史との関連で」森井裕一編『国際関係の中の拡大 EU』(信山社、2005)
- 鈴木一人「経済統合の政治的インパクト」森井裕一編『国際関係の中の拡大 EU』(信山社、2005)
- ペルクマンス『EU 経済統合』(文眞堂、2004) 第 1 章「経済統合とは何か」、第 2 章「EU における経済統合の発展」、第 5 章「製品市場の統合：方法」
- 久保広正『欧州統合論』(勁草書房、2003) 第 2 章「欧州統合理論」、第 3 章「市場統合」
- 田中素香ほか『現代ヨーロッパ経済』(有斐閣、新版、2006) 第 2 章「関税同盟と域内市場」
- 田中俊郎「域内市場白書と単一欧州議定書」田中俊郎・庄司克宏編『EU 統合の軌跡とベクトル』(慶應義塾大学出版会、2006)
- 庄司克宏「EU 域内市場政策」田中俊郎・庄司克宏編『EU 統合の軌跡とベクトル』(慶應義塾大学出版会、2006)

6 月 22 日 実体法 その 2

市民権

- ・ 国家を超える「市民権」とはどのようなものか
- ・ 外国において投票権を持つのはどのような場合か。なぜ外国人に投票権が認められるのか。

【予習課題】

EC 条約 17-22 条

参考文献

- 小川有美『『ヨーロッパ市民権』はいかにありうるか』木畑洋一編『ヨーロッパ統合と国際関係』(日本経済評論社、2005)
- カーデルバッハ『国際法・ヨーロッパ公法の現状と課題』(中央大学出版部、2005)
「ヨーロッパ連合市民権」
- 鈴木規子「外国人から市民へ——投票する EU 市民」田中俊郎・庄司克宏編『EU と市民』(慶應義塾大学出版会、2005)
- 宮島喬「シティズンシップの確立を求めて」羽場久美子ほか編『ヨーロッパの東方拡大』(岩波、2006)
- 土谷岳史「EU シティズンシップとネイション-ステート」慶應法学 4 号(2006)
<http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/news/> にて入手可
- 広渡清吾「EU 市民権とドイツ国籍法」比較法研究 67 号(2005)
- 安江則子「EU 市民の地方参政権と『市民権』概念をめぐって」法学研究 (慶應) 68 巻 12 号(1995)

6 月 29 日 実体法 その 3

人の自由移動・労働者の権利

- ・「労働者」の定義はどのようなものか
- ・学生は移動の自由を享有するか
- ・EU はどのような形で労働者の権利保護に関わっているか

【予習課題】

EC 条約 39-55 条

判例集 26, 27, 28, 30

クライル事件資料

参考文献

- 須網隆夫『ヨーロッパ経済法』(新世社、初版第 2 刷、2001) 5「人・サービスの自由移動」
- 須網隆夫『グローバル社会の法律家論』(現代人文社、2002) 13「EC における弁護士自由移動」
- 中坂恵美子「EU における長期居住者である第三国国民の地位(1)(2・完)」広島法学 29 巻 1 号、2 号(2005)
- 久保広正『欧州統合論』(勁草書房、2003) 第 6 章「労働市場」
- 田中友義・久保広正編『ヨーロッパ経済論』(ミネルヴァ書房、初版第 2 刷、2006) 第 7 章「EU 社会保障制度の改革」、第 8 章「労働市場の改革」

7 月 6 日 実体法 その 4

警察・刑事司法協力、EU の難民・移民政策

- ・「ユーロポール」「ユーロジャスト」とは何か
- ・「欧州逮捕状」とは？
- ・この分野における EU の権限は EC の権限とどのように異なるか
- ・EU はどのような移民政策を採っているか

【予習課題】

EU 条約 29-42 条

EC 条約 61-69 条

庄司克宏・世界論文

参考文献

- 庄司克宏「『自由・安全・司法領域』と EU 市民」田中俊郎・庄司克宏編『EU と市民』（慶應義塾大学出版会、2005）
- 大塚尚・木島雄一「欧州警察協力について(上) (下)」警察学論集 53 巻 1 号、2 号 (2000)
- 欧州警察協力研究会「欧州警察協力の新展開(1)(2)」上智法学 45 巻 1 号、2 号 (2001)
- ペータ「EU における国際的な警察・司法協力の障害」香川法学 21 巻 3 号 (2001)
- 篠原英樹「ヨーロッパにおける国際警察協力の進展と現状について(上) (下)」警察学論集 55 巻 1 号、2 号 (2002)
- 福田耕治「EU・加盟国警察協力におけるユーロポールの役割と e ガバナンス」同志社大学ワールドワイドビジネスレビュー 3 巻 2 号 (2002)
- 若松邦宏「EU における立憲体制と市民的自由の保障——司法内務分野をめぐる統治の変容」坂井一成編『ヨーロッパ統合の国際関係論』（芦書房、2003）
- 南部朝和「EU におけるシェンゲン・アキ(Schengen acquis)と『自由、安全、司法の領域』の進展」平成法政研究 7 巻 2 号 (2003)
- 末道康之「ヨーロッパ刑事法の現状(1)(2・完)」南山法学 28 巻 1 号、2 号 (2005)
- 庄司克宏「EU 難民政策の理念と現実」世界 2007 年 4 月号
- 庄司克宏「難民庇護政策における『規制間競争』と EU の基準設定」慶應法学 7 号 (2007)
- 広渡清吾「EU における移民・難民法の動向」聖学院大学総合研究所紀要 30 号 (2004)
- 小澤藍「EU の難民保護レジーム」法学政治学論究（慶應）67 号（2005）
- 戸田五郎「欧州庇護政策に関する覚書」藤田久一ほか編『人権法と人道法の新世紀』（東信堂、2001）
- 近藤敦「移民政策と市民権——EU、日本、伝統的な移民国家」公法研究 64 号 (2002)

7 月 13 日 実体法 その 5

共通外交安全保障政策

- ・ CFSP における意思決定過程は、EC におけるそれとどのように異なるか
- ・ 外交や安全保障政策において、何がどこまで「共通」しているのか

【予習課題】

EU 条約 11-28 条

参考文献

- 佐藤昌盛「欧州独自の安全保障？(上)(中)(下)」海外事情 2004 年 2 月号、2004 年 9 月号、2005 年 2 月号
- 広瀬佳一「欧州安全保障・防衛政策の可能性」日本国際政治学会『新しいヨーロッパ——拡大 EU の諸相』(国際政治 142 号、2005 年)
- 鶴岡路人「国際政治におけるパワーとしての EU」日本国際政治学会『新しいヨーロッパ——拡大 EU の諸相』(国際政治 142 号、2005 年)
- 植田隆子「拡大 EU と欧州安全保障防衛政策(ESDP)」森井裕一編『国際関係の中の拡大 EU』(信山社、2005 年)
- 広瀬佳一「欧米関係と EU の共通安全保障・防衛政策」田中俊郎・庄司克宏『EU 統合の軌跡とベクトル』(慶應義塾大学出版会、2006 年)
- 中村英俊「『外交・安全保障アクター』としての EU」福田耕治編『欧州憲法条約と EU 統合の行方』(早稲田大学出版部、2006 年)
- 武井伸幸「EU 危機管理における制度と政策形成」福田耕治編『欧州憲法条約と EU 統合の行方』(早稲田大学出版部、2006 年)
- カーデルバッハ『国際法・ヨーロッパ公法の現状と課題』(中央大学出版部、2005) 「ヨーロッパ憲法条約以降の共通外交政策」
- 岩田将幸「EU の『効果的な多国間主義』」神戸法学雑誌 56 巻 3 号(2006)
- 岩田将幸「欧州における『安全保障共同体の拡大』の試み」六甲台論集法学政治学編 52 巻 2 号 (2005)
- 辰巳浅嗣『EU の外交・安全保障政策』(成文堂、2001)

7 月 20 日 まとめ

EU における民主主義

- ・意思決定における議会の役割
- ・非国家主体である EU/EC において民主主義は機能するのか

【予習課題】

戸澤英典論文

参考文献

- 中村民雄「EU 立法の『民主主義の赤字』論の再設定」社会科学研究 57 巻 2 号(2006)
- 伊藤洋一「EU 基本権憲章と『民主的』統治問題」社会科学研究 57 巻 2 号(2006)
- 庄司克宏「国際経済連合における正統性と民主主義に関する法制度的考察：WTO と EU」法学研究(慶應)78 巻 6 号(2006)
- 宇野重規「政治哲学問題としての欧州統合」中村民雄編『EU 研究の新地平』(ミネルヴァ書房、2005)
- 戸澤英典「EU の民主的ガヴァナンス」森井裕一編『国際関係の中の拡大 EU』(信山社、2005)
- 小川有美「ヨーロッパ化と政治的正統性のゆくえ」日本比較政治学会編『EU の中の国民国家』(早稲田大学出版部、2003)
- 網谷龍介「EU における『市民社会』とガヴァナンス」神戸法学雑誌 53 巻 1 号(2003)
- 網谷龍介「ヨーロッパにおけるガヴァナンスの生成と民主政の困難」神戸法学雑誌 51 巻 4 号(2002)
- 浅見政江「EU 統合と民主主義」田中俊郎・庄司克宏編『EU 統合の軌跡とベクトル』(慶應義塾大学出版会、2006)
- 浅見政江「EU の民主的ガヴァナンスと EU 市民」田中俊郎・庄司克宏編『EU と市民』(慶應義塾大学出版会、2005)
- 臼井陽一郎「EU」小川有美・岩崎正洋編『アクセス地域研究 II 先進デモクラシーの再構築』(日本経済評論社、2004)
- 八谷まち子「EU の複合的ガヴァナンス」出水薫ほか編『先進社会の政治学』(法律文化社、2006)
- 安江則子「欧州公共圏への課題——憲法条約起草過程および参加型民主主義の分析を通して」法学研究(慶應)78 巻 5 号(2005)
- 安江則子「EU における透明性原則とオンブズマンの貢献」石川明古稀『EU 法・ヨーロッパ法の諸問題』(信山社、2002)